

## 請願第1号 「後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書

### 賛成の討論

20番 森本典夫 議員

請願第1号「後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める」請願書について採択すべきだとの観点で討論いたします。

この請願は、国では後期高齢者医療の窓口負担を原則1割から2割にする議論がされている中、高齢者の年金収入が減る、その上窓口負担の原則2割化は、必要な医療が受けられず受診抑制にもつながり、治療が長期にわたる高齢者の生活を圧迫し、事態をより一層深刻にいたします。このことだけ見ても、窓口負担の原則1割負担を継続すべきだと考えます。

したがって、この請願は採択すべきだと思います。

### 反対の討論

14番 簗戸利昭 議員

請願第1号に反対の立場で討論いたします。

後期高齢者医療保険の自己負担額の割合増に反対ということではございますが、本市の特別交付税が減額されるなか、井原市の一般会計予算の後期高齢者医療広域連合負担金は6億2,900万円にも上ります。後期高齢者医療制度の財源は公費負担分と後期高齢者支援金と高齢者保険料で成り立っております。高齢者の保険料にも影響しかねません。

また、国も社会保障費が増大し、国の借金も約1,100兆円余りになっているそうです。子どもや孫の世代へ借金の先送りをこれ以上するべきではないと考えます。国に社会保障の充実を求めれば、今年10月から消費税が10%に上がる予定ですが、また早い時期に消費税等が増大しかねませんので、反対をいたします。